

17度目挑戦悲願のダービージョッキー

# 河内

ゴール直前シャカールとらえる

# アグレイト 鼻追

日刊スポーツ  
NIKKAN SPORTS

5月28日  
日曜日  
2000年  
(平成12年)  
PM 6:30

第67回日本ダービー 28日

G1、芝2400メートル 東京競馬場  
今世紀最後のダービーは写真判定の未、アグレイトフライト(牡、栗東・長浜)がハナ差で制した。皐月賞馬エアシャカール(牡、栗東・森)に競り勝ち、2分26秒2のタイムで優勝した。3着にはアタラクシア(牡、栗東・池江)が入った。  
タニノソルクーパーノ、マイネルブラウ、パールエビスが誘導する展開。向正面でエアシャカールが15番手、アグレイトフライトは最後方。3角手前から武シャカールが動き、それにあわせて河内アグレネスも追走。そして直線。2冠を目指すエアシャカールが馬場の外めから、そしてアグレイトフライトは大外に進入を取り、2頭のマッチレースとなったが、最後はアグレネスがハナ差交わしてゴールへ飛び込んだ。  
河内洋騎手(45)は、ダービー17回目の挑戦で悲願達成。ゴール後、右手を挙げて喜びを表現した。サンデーサイレンス産駒は、一昨年スペシャルウィーク、昨年のアドマイヤベガに続いてダービー3連覇。また、アグレイトフライトの母アグレネスフロラは90年の桜花賞馬、その母アグレネスレディーは79年のオークスマで、親子3代によるクラシック制覇となった。

最後の直線でアグレイト(手前4番)はエアシャカール(向こう側2番)を激しく追い込み、ハナ差でダービー馬の栄冠に輝いた。左上は17日目の挑戦でついにダービージョッキーとなった河内。笑顔で声援にこたえる